

北海道防衛局次長による講話実施 ～北海商科大学～

平成26年1月31日（金）、北海道防衛局では北海商科大学において、「平成25年版防衛白書について」と題して、当局杉本次長による講話を実施しました。

これは、当局の入札監視委員会委員でもある同大学の菊地均教授の御依頼に応え実現したもので、当局としても、我が国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、より多くの方々に理解を深めていただく良い機会と捉えて、実施したものです。

同大学は、札幌市の中心部に位置し、商学部を有する私立大学で、約700名強の学生が在籍しています。同大学は、北海学園北見大学を前身とし、平成18年に名称を新たに現在の地に移されました。

当日は、北海商科大学第305教室において、約40名の学生が約50分間にわたる講話を熱心に聴講しました。

講話は、当局次長の自己紹介に始まり、続いて防衛省の組織等について簡潔に説明し、その後、平成25年版防衛白書を題材に防衛省・自衛隊が行っている広範囲な施策等について説明しました。自己紹介では、当局次長自身の経験談を交えながら、これまでの経歴を紹介し、また、防衛省の組織等の説明においては、組織図を用いながら、防衛省はいくつかの機関で構成されていることや陸海空各自衛隊の管轄区域などを説明しました。

学生達は、安全保障政策という身近でありながら難解な問題に対して興味深く聴講し、防衛省という組織について認識を新たにしているようでした。さらに、防衛白書（ダイジェスト版）の説明でも、学生達が真剣に耳を傾ける姿が見受けられ、特にわが国を取り巻く安全保障環境や国際平和協力活動への取組などに関心が高いようでした。

講話の最後には、学生からの質疑もあり、予定時間を過ぎてしまいましたが、講話は盛況のうちに終了しました。

北海道防衛局では、防衛省・自衛隊の活動、当局が行っている各種業務等について、管内の地方公共団体や学校等から講演など御要望があれば、職員を派遣して講演、説明を行っています。



学生に講話する杉本次長



真剣に耳を傾ける学生